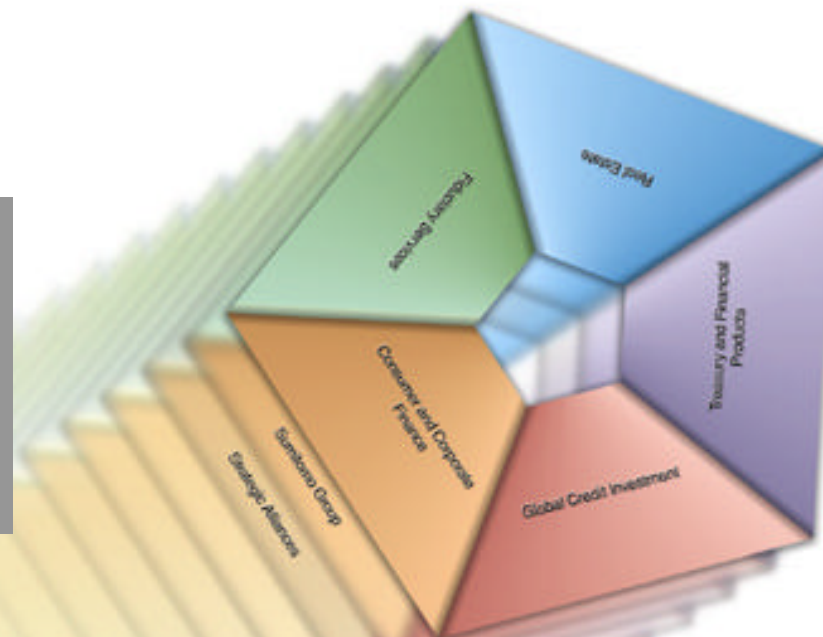




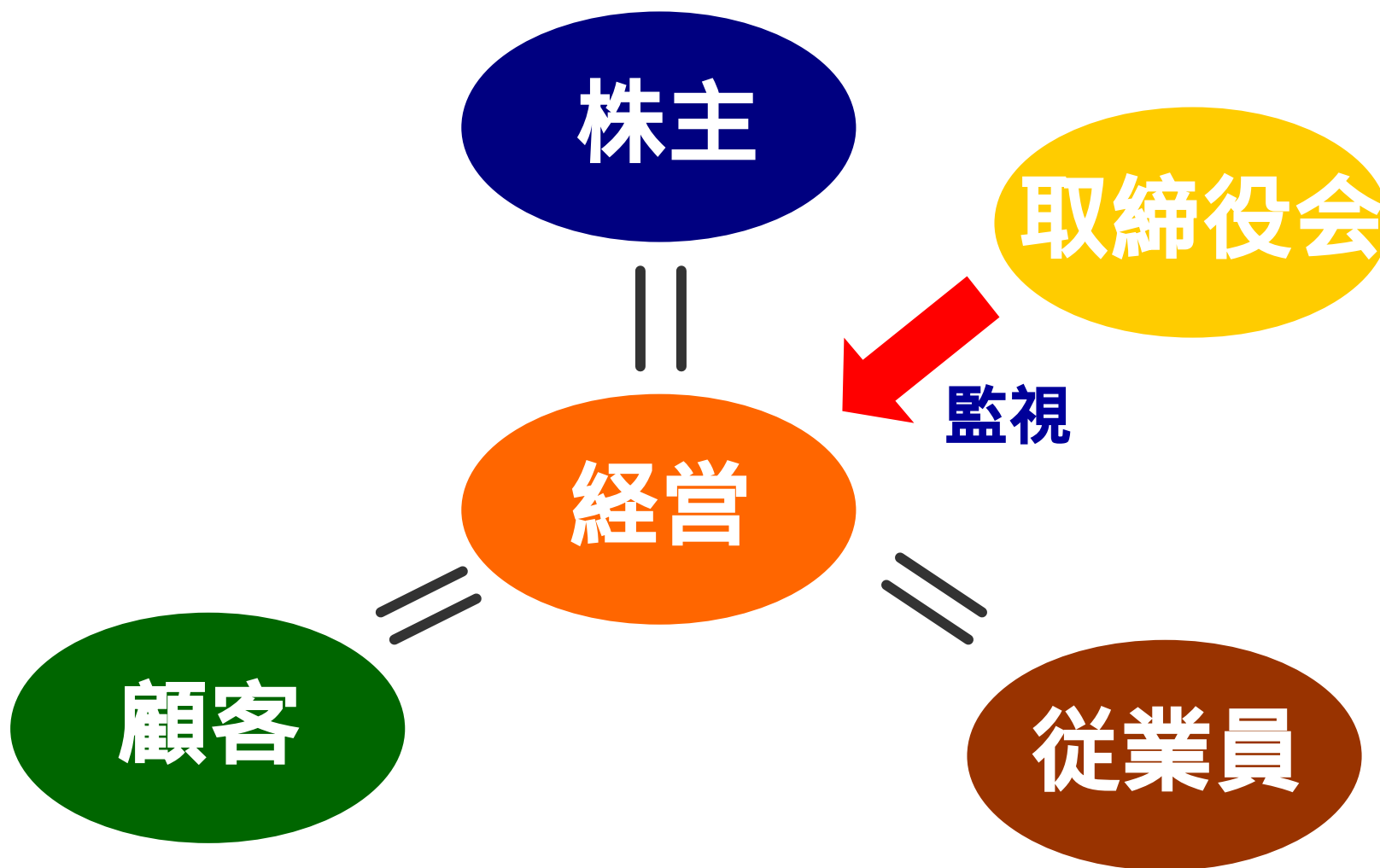
SUMITOMO TRUST 住友信託銀行

**Sumitomo Trust & Banking
Co., Ltd.**



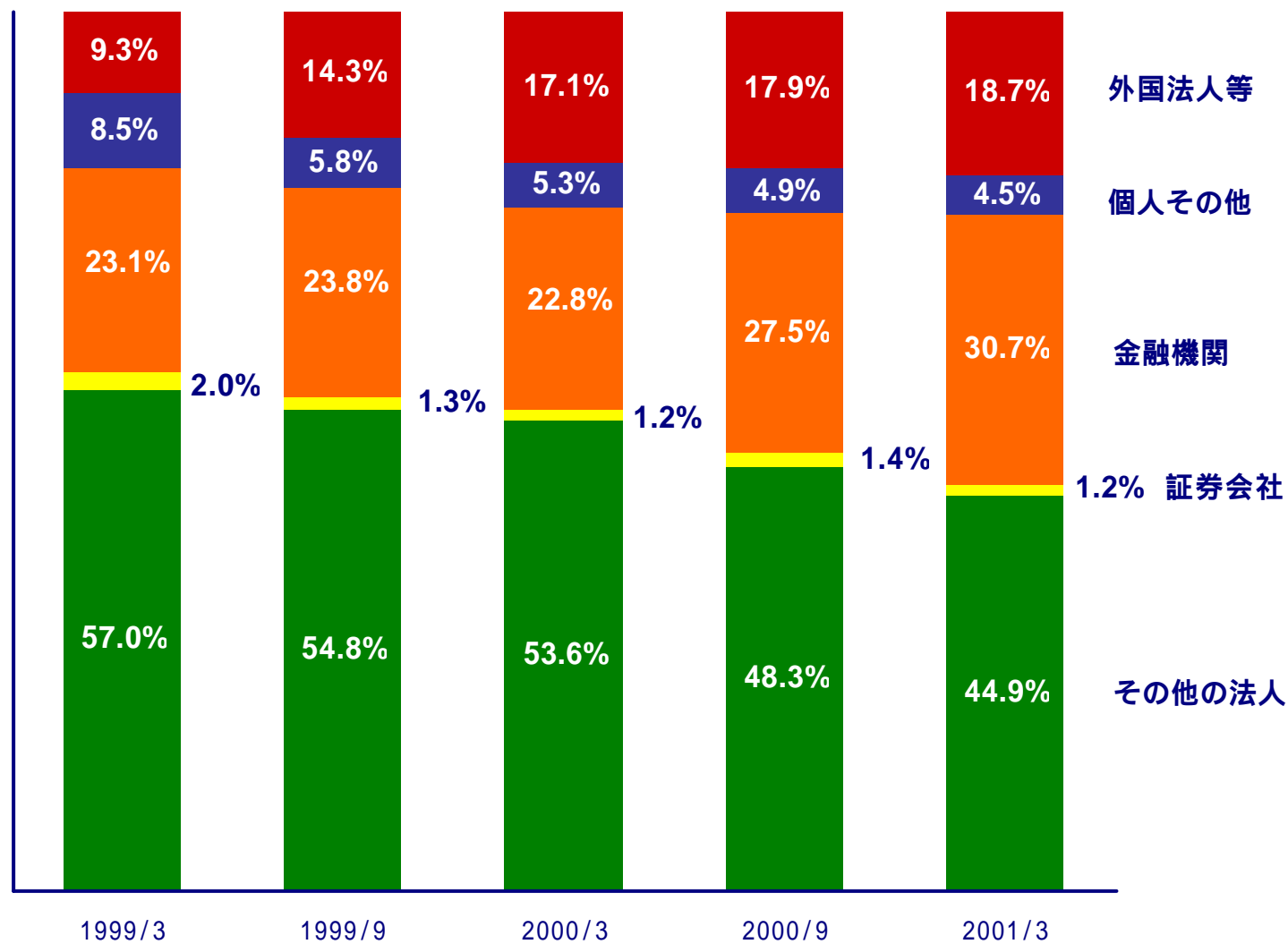
UBS ウォーバーグ 金融機関カンファレンス

2001年9月6日





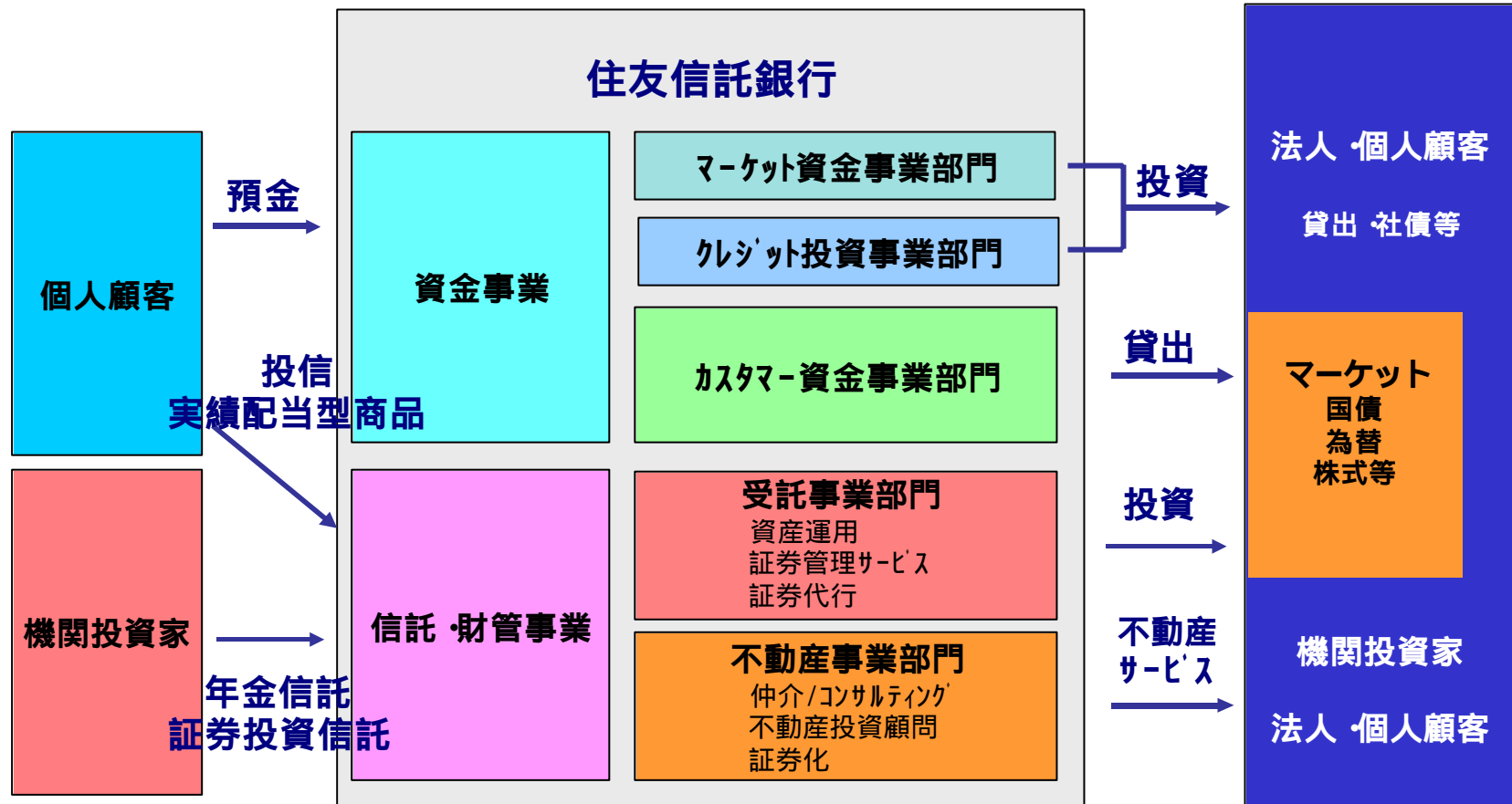
株主構成比率



**的確」な運用と「万全」の管理に
圧倒的強みを持つ
資産運用型金融機関の実現**



住友信託銀行のビジネスモデル



■ 業務純益SVA (Shareholders' Value Added)

株主にとっての企業価値』の追求

➔ 業務純益SVA』の導入

税引後業務純益

-) 資本コスト*

* 資本コスト= 株主の要求するリターン (企業に投資する株主が要求する収益率)

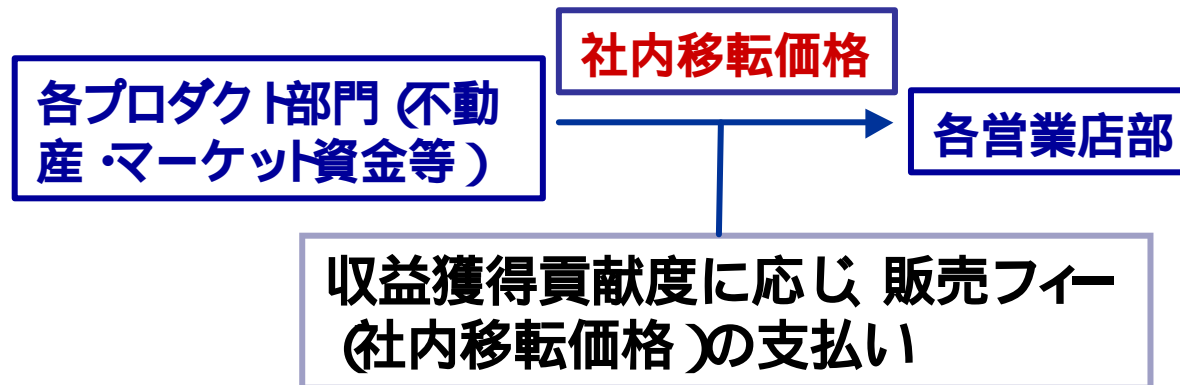
業務純益SVA 0 ⇔ 株主にとっての付加価値の創出



社内移転価格

収益責任の明確化・競争原理の強化

➡ 「社内移転価格」の導入



*ねらい)

社内に市場原理を導入

各部門経営権 / 事業遂行・収益責任の明確化

製品のプライシング適正化



モチベーション

- 市場原理を取り入れた人材配置 ➡ 労働特約制度
- 収益・付加価値による、会社の決算から個々の職員の人事処遇までの一貫した経営システム



✦ストックオプション制度

	2000年度	2001年度
取得株式総数*	310万株	300万株
付与対象人数	331名	374名
1人当りの上限株式数	15万株	15万株

* スtockオプション実行にあたりマーケットから買入れる株式数の上限



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

公的資金 (優先株式) の概要

優先株式	第一回優先株式の概要
発行金額	1,000億円
配当率	0.76%
現在の転換価格	765円
期中転換価格の下限	245円
一斉転換価格の下限	245円
転換価格の修正	上下 (毎年10月に時価にてリセット)
転換請求期間	2001/4/1 ~ 2009/3/30
一斉転換日	2009/3/31
現金償還日	2009/3/30

収益計画概要 (経営健全化計画)

(単位：億円)	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
修正業務粗利益	2,700	2,653	2,698	2,748	2,846
資金利益・貸信合同信託報酬(注1)	1,712	1,620	1,640	1,640	1,690
その他信託報酬・役務取引等利益	731	820	880	930	980
特定取引等利益・その他業務利益	256	213	178	178	176
経費	1,259	1,253	1,248	1,248	1,246
修正業務純益	1,441	1,400	1,450	1,500	1,600
貸出関係損失(注2)	1,468	800	600	300	300
経常利益	729	530	780	1,130	1,300
当期利益	426	300	450	660	770
経費率	46.6%	47.2%	46.3%	45.4%	43.8%
ROE	6.5%	4.4%	6.3%	8.7%	9.4%
その他信託報酬・役務取引等利益割合	27.1%	30.9%	32.6%	33.8%	34.4%
EPS(円)	28.8	20.1	30.5	44.9	52.5

(注1)貸信合同信託報酬：信託勘定の不良債権処理額及び有価証券売買損益除き。有価証券売買損益は「その他業務利益」に含まれる。

(注2)貸出関係損失：銀行勘定・信託勘定不良債権処理額に一般貸倒引当金純繰入額を加えたもの。

○環境想定：14年度以降、緩やかな景気回復　金利は緩やかに上昇 / 株価・為替は13年6月末の水準

事業部門別損益の状況 (経営健全化計画)

(億円)	13/3期実績		14/3期計画		17/3期計画
	粗利益	純利益	粗利益	純利益	粗利益
受託事業	555	257	575	290	667
年金・投資マネージ	350	169	374	194	415
証券管理サービス	80	25	67	25	99
証券代行	125	64	134	71	154
不動産事業	140	51	145	55	150
カスタマー資金事業	1,459	711	1,361	613	1,498
クレジット投資事業	95	58	118	78	146
マーケット資金事業	452	364	454	364	385
合計<修正業務純益>	2,701	<1,441>	2,653	<1,400>	2,846

クレジットコスト分析

自己査定ベースの資産の状況 (償却・引当後)

下段は2000/9末比増減

(億円)	銀行勘定				信託勘定			
	残高	分類	分類	分類	残高	分類	分類	分類
破綻先債権	342	10	331	0	69	0	69	0
	177	2	174	0	97	0	97	0
実質破綻先債権	360	43	317	0	82	1	80	0
	6	26	32	0	1	13	14	0
破綻懸念先債権	3,660	1,428	1,941	290	460	26	355	77
	1,851	1,099	382	369	175	39	48	87
合計	4,362	1,483	2,589	290	611	27	505	77
	2,021	1,128	523	369	271	54	131	87

(参考) 分類債権のうち不動産担保

・銀行勘定 :実質破綻先 約250億円、破綻懸念先 約1,270億円

・信託勘定 :実質破綻先 約70億円、破綻懸念先 約250億円

・合計 = 1,840億円

クレジットコスト分析

13/3月末 一般貸倒引当金による引当率の状況 (銀行勘定)

要注意先・正常先債権に対する引当率の状況

	13/3末	12/9末	12/3末
要管理先債権 <注>	15.1%	6.9%	5.7%
その他要注意先債権	6.3%	3.7%	4.0%
要注意先債権	6.7%	4.0%	4.1%
正常先債権	0.1%	0.1%	0.1%

<注> 要管理債権の(当社)定義について

- 要管理債権 = 3ヶ月以上延滞債権+貸出条件緩和債権
- 貸出条件緩和債権 = (債務者の再建または支援を目的とした) 金利減免債権、「金利返済猶予」、「元本支払猶予」、「経営支援先」、「その他債務者に有利となる取り決めを行った債権」
- ここで「金利減免」の当社基準は以下の通り
 - プライム系貸出の場合 短期プライムレート/長期プライムレート- 50bsp を下回る水準まで約定金利を引き下げた債権
 - スプレッド貸出の場合 スプレッド50 bspを下回る水準まで約定金利を引き下げた債権

資本の状況 (経営健全化計画)

(単位 :億円)	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
連結自己資本比率	11.41%	11.54%	11.43%	11.92%	12.24%
Tier 比率	6.80%	7.00%	7.36%	7.84%	8.42%
自己資本	13,812	13,857	13,726	14,306	14,696
リスクアセット	120,982	120,000	120,000	120,000	120,000
○単体資本勘定の推移見込み					
(単位 :億円)	13/3期実績	14/3期計画	15/3期計画	16/3期計画	17/3期計画
単体資本勘定計	7,608	7,798	8,197	8,747	9,407
うち 剰余金	1,740	1,908	2,226	2,773	3,433



再編戦略の条件

- 信託財管事業のシェアアップにつながるか
- ビジネスモデルで当社がリーダーシップを発揮できるか
- 収益力向上につながるか
- マーケットの支持が得られるか

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。